

事業実施報告

開催日	令和3年10月9日（土）～10月10日（日）	開催時間	10月9日（土）10:00～10月10日（日）12:30
事業名	テンパーク子ども食堂		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	21人
参加学校名等	特定非営利活動法人インクルいわてから推薦された小学3年生～小学6年生		
関係機関名	特定非営利活動法人インクルいわて		

状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

〔事業の内容〕

～採って、作って、いわての秋を食べ尽くそう！～をテーマに1泊2日の中で、野菜や果物の収穫、釣り体験を行い、収穫物を野外で調理して食べる活動を中心にプログラムを構成した。

野菜の収穫では、近隣大学の協力を得て、収穫方法を指導いただきながら、包丁や鎌を使って収穫させていただいた。夜は収穫物を使って、栄養士の指導のもと野外で調理実習を行った。「早寝・早起き・朝ご飯」の重要性について講話いただくとともに、1日のトータルで栄養をとれるようにしていこうと励ましていただいた。

翌日は、近隣の養魚場で釣りを体験し、養魚場代表の指導を受け、一人一人がはらわたを取り、捌く体験をした。魚から血が流れる様を見て、目を背ける子もいたが、命をいただいていることに気づき、最後は感謝しておいしくいただくことができた。

〔成果〕

- ・子ども食堂を運営する特定非営利活動法人の協力を得て、周知と募集を担って頂き、支援を必要とする家庭に周知することができた。また、連携施設職員が帯同していただいたことで、当施設をはじめ利用する参加者が、安心して参加することができた。

- ・周知期間に県独自の緊急事態宣言が発出された影響で、当初は、半数しか集まらなかったが、対象年齢を広げ、宣言が解除されたのを受け、再周知をいただいた結果、定員20名の参加を得ることができた。

- ・事業後のアンケートで、事業全体に関する満足度について参加者から「満足」85%「やや満足」15%となり肯定的評価100%を得られた。

- ・事前アンケートでは「調理経験がほとんどない」が40%であった。しかし、危険を伴う実習にボランティアを配置し、手厚いサポートを行ったことで、事後には「家でも調理をやってみよう」という回答が40%となり、自信になったこと、活用意欲を持たせることができたことが読み取れる。

〔課題〕

- ・対象年齢を下げたことで、調理経験が全くない児童の割合が多くなり、野外調理は大幅に時間を超過した。対象の変化に合わせて、修正して練り直す必要があった。

- ・活動を多く設定したことで、余裕時間がなく、星空観察・たき火に十分な時間を設けることができなかつたことで満足度が低くなった。次年度に向けて活動の精選が必要である。

- ・ファーストエイド・オリエンテーリングを行い、高学年からは好評であったが、中学年の理解は十分ではなかつた。対象年齢に応じた再調整と精選をして十分な効果が得られるよう改善を図りたい。

状況写真



「白菜の収穫」



「りんごの収穫」



「焼きりんごづくり」



「釣ったニジマスを自ら捌く体験」



「自分で捌いたニジマスにかぶりつく参加者」